

計画町政の青写真

総合計画に

取り組む

観光開発や学校統合問題も

藤原イチゴのは場を視察する北林(右から二人目) 杉木(同三人目) 籠瀬(同五人目) の三氏と事務局職員



人口	28,271 (-3)
{ 男 女	13,306 (+7)
	14,965 (-10)
世帯数	6,646 (+5)
() 内は前月比	
3月1日現在住民登録	

わたしたちの町をより住みよくするために、総合的かつ計画的な行政運営をはかることが必要であり、入善町の将来図ともいうべき総合計画を策定しようと、昨年十二月からその事務を進めております。この総合計画では、あらゆる町行政の方向を位置づけることとなりますが、当面の大きな課題である学校統合、上下水道、工場誘致などの問題も、町財政に見合った年次計画のもとに推進することになります。

策定にあたっては、五月に予定している広聴会で住民の声なども聞き郷土出身の籠瀬良明日大教授、北林富山中部高校教諭、杉木北銀調査部次長など学識経験者と、役場の課長クラスで構成する策定委員会で明年三月末までには策定を終える方針ですが、基本構想については九月議会に提案することにしております。なお事務局では、たくさんの方がすばらしいアイデアを寄せて下さるよう望んでいます。

第19回入善町議会定例会

四十七年度の町政は

「人にみな福祉」を合言葉に

47年度一般会計 ▼ 十二億三千七百二十九万四千円を計上 ▲

昭和四十七年度の予算案などを審議する第十九回入善町議会定例会は、去る三月九日から十八日までの十日間にわたって開かれました。第一日目の提案理由説明のなかで、柚木町長は計画的積極財政を基調としながら第一に福祉対策の強化を推進、第二に生活環境と産業基盤の整備、第三には学校教育の振興と社会教育の推進を重点施策とした、十二億三千七百二十九万四千円という大型一般会計予算の内容を説明しました。この数字を並べてみますと、一三三七二九四（人にみな福祉）となりますが、今日は予算を中心に議会の模様をお知らせします。

総合計画に着手

▽総合計画審議会条例の制定——総合的かつ計画的な行政運営をはかるため、町長の諮問に応じ必要な事項を調査審議するもので、学識経験者や関係行政機関の職員などで構成するものです。
▽印鑑条例の一部改正——事務の合理化計画により、印鑑紙を機械で復写し、謄本による印鑑登録証明書を交付することになります。

る委員の定数を、第二選挙区（上原、青木、小摺戸投票区）では五人から六人に増やし、第四選挙区（新屋、舟見、野中投票区）では五人から四人に減らします。
▽青年学級の開設——各校下に一か所ずつ開設するもの。

▽消防表彰条例の制定——功労抜群で他の模範となる消防職員、消防団員を表彰するとともに、じゅん職者に対しても見舞金を支給することになりました。
▽消防団条例の一部改正——火災、水害、訓練、警戒出場手当を増額します。

保母を増員



▽職員定数条例の改正——南部保育所の新設と収容児童の増加にともない保母二名、調理師一名を増やしました。

▽富山県市町村消防団員等補償組合規約の変更について——水防作業に従事していて負傷した場合にも適用することになりました。
▽北方領土の早期促進の決議

採択した請願

▽育苗センター設立に対する助成方（ほかと同様請願二件）
▽木根・東狐線（青木四十号道路）の舗装化
▽改良舗装の遅れている福島地内の町道、農道の早急な舗装工事着手
▽神子沢地区の町道舗装方
▽舟見地域建築会館建設に対する助成
▽県道舟見入善線の未改良部分の拡幅方

可決した主な議案

▽四十六年度入善町一般会計補正予算——五百七十六万九千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ十三億一千九百三十八万五千円としました。

歳入の主なものとは法人町民税で百十万円、町たばこ消費税で九十万円と税収が伸びたのをはじめ、保育所児童の保護者負担金で百八十一万円、道路舗装事業負担金で七十三万円、老人健康診査の国庫負担金で二百三十万円、財産売却収入で八十六万円が増えています。逆に現年度の災害復旧事業費負担金で百四万円、老人医療費で百四万円、老人医療費に対する県補助金で二百万円、災害復旧のための町債七十万円などが減額されています。

一方歳出では議会費で百一十万円、黒部保健所改築事業負担金で百六十八万円、入善駅改築期成同盟会負担金で三百万円、入善中町排水路の補助

年齢を引き下げ

全額助成に

四月一日から実施

▽老人医療費の助成に関する条例の一部改正——対象者年齢を七十五歳から七十歳に引き下げるとともに、全額助成することになりました。なお六十歳以上六十九歳以下の身体障害者やねたきり老人、精神薄弱者にも適用することになります。

▽心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正——老人医療費の助成対象者の年齢引き下げにともない、六十九歳以下の心身障害者に助成することになります。

18ℓ当り25円に

し尿収集手数料

▽廃棄物の処理および清掃に関する条例の制定——清掃条例を全部改正し、事業主の責務をきびしく定めるとともに、廃棄物の処理については町民の協力を義務づけています。また、し尿収集、運搬処分手数料も、十八リットル当り二十五円に改定しました。
▽農業委員の定数などに関する条例の一部改正——選挙によ

町税のうちわけ (単位千円)

町民税	110.048
固定資産税	149.607
軽自動車税	8.305
町たばこ消費税	30.000
電気ガス税	26.000
木材引取税	20
計	323.980

億二千三百九十八万円を見積りました。

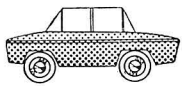


「たばこ」は必ず町内で。

一八パーセントを占め、前年より四十二億二千二百九十九千円多い三億二千三百九十八万円を見積りました。

●町税 歳入予算の二十六・

昭和四十七年度の一般会計予算は、昨年より一億三千二百二十九万四千円多い十二億三千七百二十九万四千円。特別会計では国民健康保険特別会計予算が昨年より二千九百六十万円多い二億七千二百十万円、簡易水道特別会計予算が二百五十三万七千円となり、一般会計と特別会計を合せますと十五億一千百九十三万一千円となります。さてそのうちわけは……



●自動車取得税交付金 車を購入した際に課税される自動車取得税が、交付金となつて町の道路整備の財源となります。昨年と同じ一千七百万円。

●地方譲与税 自主財源の乏しい市町村に交付されるもので、今年には普通交付税で三億九千八百万円、特別交付税で三千万円となり、歳入予算の三十四・五パーセントにおよびます。

●交通安全対策特別交付金 交通反則金制度によって国へ納付された反則金が、県を通じて交付されてくるもので、今年には昨年より十万円多い六十万円とみました。

●分担金および負担金 このなかには保育所児童の保護者負担金四千四百万円、道路舗装事業負担金八百四十八万円のほか、一



県から一億六十五万円

「予算のうちわけ」

農業構造改善事業に

▽中沢地区で購入の大型トラクター二台に対する補助金交付
▽ほ場整備事業によってできた青木地内の道路を町道に認定し早期舗装方
▽軍人恩給調査経費に対する助成方
▽県道上飯野大家庄線の舗装促進方

▽小摺戸、新屋(元村)部落合同火葬場の新設に対し建設費の助成方
▽大型トラクター導入に関する助成方(ほかに同様請願七件)
▽入善小学校第三期工事の推進
▽岡山小学校プールの建設方
▽芦崎地内バイパス道路の舗装と防火用水の改良方

▽簡易水道建設に対する助成(ほかに同様請願二件)
▽中沢地内の農道拡幅
▽町道上原縦断線の舗装方
▽舟見地内の町道八幡町線の一部拡幅整備
▽福島水防倉庫に外灯の取付け

継続審査する請願

採択した陳情
▽社会体育振興に関して予算面での配慮方
▽横山海岸に離岸堤の設置方
▽モーター建設を許可しないよう
▽上町へ君島線都市計画道路に設置するすずらん灯に対し経費の助成方

●地方譲与税 昨年十二月一日から新設された自動車重量税が町へ一部還元されてくる自動車重量譲与税で、八百万円を見込んでおります。

部の人々が特に利益を受けるような道路の事業負担金として七百五十万円、入善漁港建設分担金の八百七十四万円があります。

●使用料および手数料 老人いこいの家、町営火葬場、町営住宅、公民館、中央プールなどの使用料や道路占用料で六百四十六万九千円と、戸籍や印鑑証明手数料、衛生券売りさばき手数料などで八百四十七万九千円、計一千四百九十四万八千円。

●国庫支出金 保育所、公営住宅、海岸保全、漁港、消防、小中学校教育、国民年金など、国が行なうべき事業に対して、補助金、負担金、委託金の形で町へ支払われます。総額一億九百二十五万一千円。

●県支出金 県が行なうべき事業に対する県の補助金などですが、何といつても多いのが農業構造改善事業への一億六十五万八千円、全体としては昨年より一億百四十一万五千円多い一億六千三百九十四万六千円となっています。

●財産収入 分譲宅地や岡山公営住宅売却収入などで一千四百九十二万四千円。

●雑入 昨年とほぼ同額の三百三十三万一千円。
●繰入金 庁舎建設積立基金からの繰入金で二百七十万円。
●繰越金 四十六年度からの繰越金を一千万円とみています。
●諸収入 預金利子や貸付返還金などで九百八十八万三千円。

●町債 町が大きな事業を行なうために借入れするもので五千四百七十万円。うちわけは
・民生債 五百五十万円 (岡山保育所改築)
・衛生債 百八十万円 (ゴミ収集車購入)
・土木債 二千二百九十万円 (道路橋梁債一千九百万円)
(舟見公営住宅建設債三百九十万円)
・教育債 二千四百五十万円 (横山、野中小プール建設、練成館敷地取得造成)

電話機の移転工事の予約は早めに
申し込みは701000番へ

予算のうちわけ



じん芥焼却場

2か年継続事業で
朝日町と共同で50トン炉

老人医療費の助成に

一千五百六十五万円

桐山保育所も改築

▼民生費 一人にみな福祉を合言葉とする四十七年度の町政ですが、特におとしよりにとって最良の年となりそうです。

まず敬老会の慰安方法を改善して老人クラブ活動の補助金の引き上げを行ない、老人医療費の負担金として一千五百六十五万円を計上しました。

また武村福祉会館前の広場の整備や備品購入、落成式に七百万円、児童手当は二百人分として六百六十万円、桐山保育所改築工事費で一千七百五十万円、保育所の遊具購入などに百二十万円をみてあります。総額で一億八千九百三十六万円。



▼衛生費 昨年より一千二十七万円少ない四十六万三千四百六十三

万円。旧東部衛生処理組合の負担金などは総務費でみることにしたため、ロードパッカー購入費や不燃焼物捨場の敷地買収費なども含まれており、実質的には増額しているのです。

▼労働費 失業対策事業を打ち切ったため、百三十万円になりました。

▼商工費 工場誘致資金の返済が完了したため、昨年より一千三百二十万円少ない一千五百二十四万円。入善まつり開催委託料四十万円、商工会補助金二百万円、小規模事業指導員補助金二百八万円などが主なもの。

漁港に

一億四百万円

構造改善補助も大幅増額

▼農林水産業費 一躍二倍近くの二億八千九百九十九万円に増えたのは、農業構造改善事業補助金が大幅に増えたため、トラクター購入や稚苗センター建設には六百万円の補助金をあてることになりました。また農地費においても土地改良関係には一千万円近い補助金を交付し、漁港建設関係には一億四百一十一万円、沿岸漁業の振興には浅海投石事業、舟揚場改良、海岸灯の設置などを行ないます。

二倍にふえた

交通安全対策費

広報車を更新、活動を強化

▼総務費 庁舎建設費がなく、昨年より三千二百五十六万円少ない二億二千四百九十三万円。管理的な仕事を行なう総務課や企画財政課、そして住民課の戸籍関係、国保を除く税務関係といった広い範囲におよぶ経費となります。今年には特に、広域圏組合費としてじん芥焼却場、火葬

舗装に全力投球

舟見には町営住宅10戸

▼土木費 昨年より二千四百二十万円多い一億四千二百一十四万円。道路維持費では原材料費として一千六百万円、アスファルトフイニ

シャー、振動ローラー購入に五百七十五万円を投じ道路維持、舗装の進展をはかります。道路の新設改良にも四千五百八十三万円をみており、道路網の整備は急激に進むことになりました。いっぽう住宅建設費には一千五百四十四万円を計上し、四十七年度は舟見に十戸の町営住宅を建設します。

歳出予算の前年対比

(単位千円)

区分	47年度	46年度	比較	区分	47年度	46年度	比較
議会費	24,285	21,809	2,476	土木費	142,143	117,934	24,209
総務費	224,931	257,491	△32,560	消防費	32,438	29,472	2,966
民生費	189,367	208,510	△19,143	教育費	220,975	127,044	93,931
衛生費	40,638	50,917	△10,279	災害復旧費	2,945	1,242	1,703
労働費	1,308	35,340	△34,032	公債費	59,128	57,852	1,276
農林水産業費	281,995	157,935	124,060	予備費	1,894	11,000	△ 9,106
商工費	15,247	28,454	△13,207	歳出合計	1,237,294	1,105,000	132,294

▼公債費 元金は昨年より二百四十一万円少ない三千六十四万円、利子は三百六十九万円多い二千八百四十八万円、合計五千九百二十二万円です。



横山の
消防自動車更新

▼消防費 野中屯所の移転改築に九十五万円、青崎の防火井戸改良二十一万円、横山分団の消防車購入に三百十万円。小摺戸の小型ポンプ購入費で三十八万円、消防団員公務災害補償組合負担金百三十五万円のほかに、消防団員の報酬や旅費、消防署職員の給料や手当など、合せて三千二百四十三万円です。

▼災害復旧費 二百九十四万円をみており、災害復旧は早急に行なうとともに、万に備えて応急工事原材料費も計上してあります。

横山、野中両小学校に

プールの建設

入善小の管理棟には二、四五〇万円

▼教育費 昨年の一・七三倍に増えて二億二千九十七万円。教育センター費は二百五十万円、小学校費では学校備品購入に五百万円、教材備品購入費で一千九十三万円、横山、野中両のプール建設工事費としては二千三百七十万円、入善小学校の管理棟建設費に二千四百五十万円をみており、中学校費でも学校備品の購入に三百万円、教材備品などの購入には九百四十七万円舟見中学校の負担金として七百万円を計上しております。

社会教育費では連青や連婦、ボーイスカウト、ガールスカウトなど各種団体の補助金、青年の船団員派遣補助金、新しくで

きる公民館主事補の報酬も含まれております。図書館費では昨年より百三十一万円多い二百四十二万円を計上し、そのうちの二百二万円を図書購入などにあてるものです。また青年学級費は百三十三万円、婦人学級費は九十八万円、家庭教育学級費で四十一万円、文化財保護費には六十四万円を投じ、沢杉調査も行なう方針です。

保健体育費では町民体育大会や地区体育大会の委託料、体協への補助金、総合運動場の管理費、錬成館敷地造成費など、社会体育の振興や施設の充実に意を配っています。

▼予備費 百八十九万円です。

瀬戸焼に似た

舟見焼

保存会を結成し後世に

「陶器は人類と共にある」という言葉は、今日でも真理とされています。古今東西いづれの国を問わず、またその時代の新旧の別なく、いく千年以上の長い期間にわたって、各民族は独自の焼物をつくって今日におよんでおり、陶器は人間の生活必需品としてはじまったものときれております。

陶器を愛好する人が年々多くなる現在、入善町においても古老より言い伝えられている舟見焼について調査し、舟見焼の保存と新窯を建設し、これを後世に伝えようと、このほど陶器の愛好家が集まり舟見焼保存会が結成されました。保存会ではさつき活動にはいり、三月十八

日には入善町商工会へ富山県文化財保護委員長島藤正先生を招き、陶器についての講演会や舟見焼の展示会なども開いております。

さて、この舟見焼の特色はどんなところにあるでしょう。

そもそも舟見焼の発祥は、今より約百三十年前に朝日町棚山において棚山焼として始まり、その後三十年ほどして坂本昭夫氏(舟見)の祖父である医師坂本玄真氏が窯をつくり、愛知県瀬戸から陶工を招いてその優れた技術を取り入れ、瀬戸焼とはまた違った陶器として生まれました。が舟見焼だといわれています。

しかし明治二十三年ごろには後継者がなく廃窯となり、たく



塚田久子さん

中風で寝込んでいた義母にいやな顔ひとつせず、十八年間も献身的な看病を続けているという農家のお嫁さんを、このほど町長表彰を受けてその篤行をたたえました。

この表彰を受けたのは入善町下飯野、塚田久子さん(三十八歳)で、結婚後間もなく義母ツヨさんが中風で全身不随となって病床に伏したのに続き、四十年には義父松太郎さん(四十五年死亡)も中風で倒れるなど、

塚田さんを
町長表彰
十八年間も義母を看病

毎日農業と看病で明け暮れたにもかかわらず、常に笑いを絶やさず、かゆいところに手のとどくような看病振りには、近所の人たちの感心のまじったものです。

町長表彰を行なうにはいろいろの規定があり、このケースの表彰は塚田さんが最初ですが、柚木町長の心のこめた表彰事由の説上げと、感激の涙にくれる塚田さんの顔がたいへん印象的でした。

北電だより



ホロボロコード

危険です



ズボラ抜き

(舟見焼のいろいろ
展示会で……三月十八日)



さんあった陶器も大正十二年の大火で焼失、今ではわずかながら愛陶家により温存されているのが実状で、うわ柴は瀬戸焼に似て黒色または褐色で、素焼のものは粘土に鉄分が多いためなまこ色を帯びて堅質とされております。

もしこのような舟見焼を再現できるとしたら、特産品として高く評価されるだろうと、保存会員や関係者は意気込んでいます。が、舟見焼と思われる陶器をお持ちの方は、入善町教育委員会内舟見焼保存会事務所へご一報下さるよう望んでいます。

身体障害者巡回更生相談

(無料)

4月20日

午前10時～午後3時

入善町中央公民館

診察は 坂東栄三先生

(黒部厚生病院整形外科医)

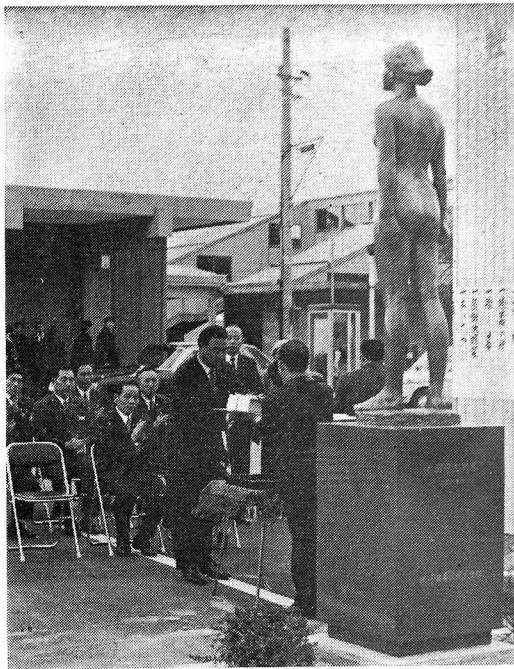
診断は肢体不自由者に限ります。

診察、判定は午後1時～3時まで

千田建設社長の寄贈で

入善駅前にもニユマン

—— 田中三太郎さんの日展入選作 ——



千田総氏に感謝状を贈呈……二月十七日

入善の農業共済組合が合併
入朝

黒東農業共済組合に



袖木町長の立会いで調印式を行なう
朝日町役場議場で 二月八日



老人いこいの家の 開所時間を変更

開所時間は 9時～18時
定休日は (毎週火曜日)
(祝祭日の翌日)



山火事を 防ごう

本県の山火事は、四・五月に集中的に発生し、四十五年の被害は二十四件、千八百万円にものぼっています。これは北陸地方特有のフェーン現象と行楽ハイカー、山菜取り、造林作業などのため、入山者が多くなったことが要因として考えられますが、原因はタバコの火、たき火の不始末、野火の拡大がほとんどです。一度燃失しますと、元に戻すのに永い年月を要し、多

くの労力を必要とします。

緑の豊かな山は住民の目を樂しませ、環境浄化、山くすれの防止、水源のかん養など大切な役目をはたして国民の財産となっています。しかしそれぞれの山は、所有者が造林保育と管理しているもので、入山者は絶対に山を荒さぬよう、次のことに注意しましょう。

- ◎異常乾燥注意報の発令中は、山では絶対火を扱わぬこと。
- ◎たき火の跡始末を完全に行なうこと。
- ◎タバコのスイガラは必ずもみ消し、消えたことを確認すること。

転居届は

郵便局へも

毎年三月から四月にかけて入学、卒業、就職あるいは転勤などにより、住所が変わる人が多くなりますが、郵便物を混乱なく受取っていただくため、次のことにご注意、ご協力をお願いします。

転居届は忘れずに!

転居届をする場合、市町村の役場などではその必要性から、いろいろの手続きを行います。転居届は忘れずに提出してください。転居届の用紙は各郵便局に備えているほか、役場などの窓口にも準備しております。なおこの転居届は、旧住所を受け持つ集配郵便局に提出していただくことになっておりますが、転居先の郵便局、ある

表札や郵便受箱も!

転居先の新居には、郵便物が間違いなく確実に配達されるよう家族全員の名前がわかる表札を掲げるとともに、大型の郵便物もはいる郵便受箱を設けて下さい。

いは最寄りの無集配局でも便宜受けつけます。



名簿類にも 郵便番号を

卒業生名簿、社員名簿、会員名簿など、各種の名簿類が準備作成される時期です。これらの名簿には、住所とともに郵便番号が記載してあります。せっかく作る名簿類が、これを利用する人達にいつそう便利なものであるように、郵便番号を是非とも併記して下さいよう協力をお願いします。

役場の電話番号は(一〇〇)番(〇一三四番は南部保育所)です

“白山”は

特急に格上げ

三月十五日の時刻改正により、今までの急行「白山」がなくなり、代わりに特急「白山」として格上げ運転をしております。
(注) 泊は通過し、次の停車駅は糸魚川です。

東京への旅行には、便利で早いこの特急「白山」をご利用下さい。入善駅では特急「白山」の「ゆき」「かえり」の指定券を発売しておりますので気軽に求め下さい。

特急「白山」の利用時刻
 ・入善駅発(直江津行普通) 七時五十五分
 ・糸魚川着 八時三十八分
 ・糸魚川駅発(信越經由特急「白山」上野行)

5月の当直医

3日	山本医院	TEL 72-0312
5日	島田医院	TEL 72-1080
7日	川瀬医院	TEL 72-0069
14日	永井医院	TEL 72-1604
21日	西町医院	TEL 72-0127
28日	田中医院	TEL 72-0455

救急車は119番で

← 八時四十三分
 ・上野駅着 十三時三十四分
 入善〜上野間の所要時間は五時間三十九分に短縮されました。
 入善駅(電話07-0055)

予防注射を!!



最近、野犬による危害がたびたび発生しておりますので、県と町が協力して犬の危害を防止するため、次のことを実施する

ことになりました。皆さんのご理解と協力をお願いします。
 ▼狂犬病予防注射、登録
 登録は年一回、注射は年二回です。日程は下の表のとおり。
 ※手数料
 ・登録料 三百円
 ・注射料および注射済証交付手数料 三百円
 ※印鑑を持参下さい。
 ▼不用犬の収容日
 毎週木曜日に保健所から補獲に採りますから、前日に保健所お

よび民生課衛生係(電話七二局一〇〇番)へ連絡下さい。
 ▼断種手術
 不用犬の繁殖を防ぐために断種手術を受けましょう。希望者は申し出て下さい。
 ▼犬の放し飼いは絶対やめましょう。

4月19日	9時30分~11時 12時 ~ 14時	舟見支所 野中梅津魚店
4月20日	9時 ~ 11時 11時30分~12時30分	飯野公民館 飯野漁業協同組合
4月21日	9時 ~ 11時 12時~13時30分	新屋土地改良区事務所 小摺戸中央公民館
4月22日	9時 ~ 14時	入善町中央公民館

◎生後91日以上は必ず受けましょう

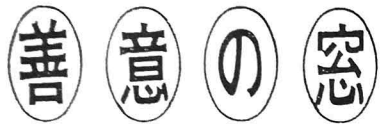
だれでも加入できます
 国民年金に加入して保険料が免除になっていなければだれでも加入できます。また、国民年金の加入者で、五十アル以上田畑のある農家の経営主などは、農業者年金に加入することになっていますが、同時に国民年金の所得比例保険料も必ず掛けなければなりませんので、忘れずに届出て下さい。
 所得比例制度の加入手続きは簡単で、加入する人の国民年金手帳の記号、番号など役場の年金係へ申し出て、届書に押印するだけです。くわしいことは住民課年金係に問い合せ下さい。

よけいもらえる 所得比例制度

もう少し掛け金が多くなって、多くの年金をもらいたいと、所得比例保険料をかけている方が三万六千人もいます。
 この制度は、現在納めている四百五十円の定額保険料のほかに、所得比例保険料として月三百五十円を納めると支給されるものです。所得比例保険料をか

物品の部

入善東部第1.第2 福寿会一同	雑布 711枚 {入善小学校へ 640枚 {東部保育所へ 71枚
黒東組仏婦連盟 (善称寺、光明寺 常福寺、浄蓮寺 正覚寺、仏教婦 人会一同)	雑布 1,400枚 町内小、中学校 保育所へ 1,300枚 黒部学園へ 100枚



あたたかいご芳志を感謝いたします
 入善町善意銀行(敬称省略)

現金の部 (2月1日~3月27日)

預託(寄附)	内	容
入膳 山本正勝	10,000円	社会事業資金として毎月(2.3月分)
〃 柴田忠義	3,000円	タバコをやめて毎月(2.3月分)亡娘の供養として社会事業資金に
〃 寺崎平太郎	50,000円	亡母の供養として10,000円、社25年勤続記念に10,000円と善銀へ15,000円、東部第1福寿会へ5,000円
入膳 松倉 力	20,000円	社会事業資金にダンスパーティ収益金を
東洋紡 日置則子	5,000円	拾得金を
下飯野青年団	2,000円	〃
下山水野久昌	2,000円	〃
朝日町 竹内武芳	1,586円	〃
田の又 坂東明良	1,000円	〃
浦山新 鬼原仁志	500円	〃
町内匿名(女)	1,387円	1円、5円玉にてつり銭をためて国民年金の過金を
下飯野塚田ゆり子	1,161円	〃
青木 高山恵美子	450円	〃
入善高校1年1組	400円	クラス金の残金を
樽山新前田松太郎	10,000円	横井庄一さんへあさま山荘殉職者高見警視正家族へ
入膳 米沢良吉	10,000円	〃
若栗新 若島友衛	2,000円	〃
〃	2,000円	類焼見舞として黒部市へ
計 19件	142,484円	

四月は全国河川美化運動月間です

